

活動報告

筑波大学理療科教員養成施設活動報告（平成28年）

施設長 教授	宮本 俊和
准教授	和田 恒彦
講師	徳竹 忠司
	濱田 淳
技術専門職員	神田 聖子
	恒松 隆太郎
非常勤講師	小林 智子
	廻谷 滋
	半田 美香子
	林 健太郎
	西村 博志
	松江 泰寛
	佐藤 卓弥
臨床専攻生	佐々木 皓平
理療研修生	名嘉山 和成
	坂口 雅明
	市川 潤
	國見 一雄
	河野 智章
	田口 淑也
	路野 学
施設生	第2学年21名
	第1学年18名

本年は20名のスタッフと施設生39名により、筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部鍼灸治療室を運営した。

I. 施設の概要

筑波大学理療科教員養成施設は、明治36年（1903年）3月10日に「東京盲啞学校」の「教員練習科」として誕生以来、110年間全国の盲学校、視力障害センター、鍼灸マッサージ師養成学校の教員、鍼灸関連大学教

員を輩出すると共に、わが国における東洋医学の研究拠点として足跡を残してきた。本施設は、教育職員免許法にもとづき文部科学省が認可した指定教員養成機関である。あん摩マッサージ指圧師免許・はり師免許・きゅう師免許の3種を有する者に、2年間（89単位）の教員養成教育を行う。

施設附属の「理療臨床部」は、施設生の臨床実習施設としてのみならず、あん摩マッサージ指圧、鍼、灸、物理療法の基礎的・臨床的研究、および鍼灸師の卒後臨床教育を行うことを目的としている。

施設スタッフは、教員4名、技術専門職員2名、事務員2名が学生教育・卒後臨床教育を担当し、臨床活動・研究活動には、臨床専攻生・理療研修生が加わる。

臨床専攻生は、鍼灸に関する研究指導を受ける者で、大学を卒業し、あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有する者、あるいは本施設卒業者が入学をすることができる。

理療研修生は、鍼灸に関する卒後臨床指導を受ける者で、はり師免許、きゅう師免許を有する者が入学することができる。

II. 入学・就職状況

1. 施設生 入学試験

1) 盲学校専攻科理療科卒業見込者を対象とした平成28年度推薦入学では、受験者12（うち女性3名）、入学者5名（女性2名）であった。

2) 一般入学では、受験者35名（女性6名）、入学者14名（女性4名）であった。出身学校は、盲学校13名、視力障害セン

ター2名、専門学校2名、大学2名であった。

2. 施設学生就職（平成27年度分を示す）

27年卒業予定者は19名、教員の求人数は19名であり、就職先の内訳は、盲学校14名、視力障害センター1名、治療院1名、進学者2名、その他1名であった。

3. 臨床専攻生入学・卒業（平成28年度）

臨床専攻生は、1名が入学し、1名が卒業した。

4. 理療研修生入学・就職（平成28年度）

理療研修生は、入学者6名で、期間延長者を含めると8名であった。理療研修生2名は進級し、5名は進学・就職した。

Ⅲ. 業務

理療科教員養成施設の授業、治療室活動以外に、学内、学外で以下の業務を行った。

1. 大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻で、「アスレティックリハビリテーション特講Ⅲ」、「アスレティックリハビリテーション演習Ⅱ」、「アスレティックリハビリテーション実習Ⅱ」、「スポーツ医学セミナーⅡ」、「スポーツ医学概論Ⅱ」の授業を行った。
2. 大学院人間総合科学研究科障害科学専攻で、「障害科学調査・実験実習Ⅱ」、「障害科学研究法Ⅰ」、「障害科学研究法Ⅱ」、「障害科学研究法Ⅲ」、「理療教育学特講」、「理療科教育実践演習」、「東洋医学概論」、「理療臨床論特講」、「理療臨床論Ⅰ」、「理療臨床論Ⅱ」、「理療教育学演習」、「理療研究法」、「理療教育指導実習」、「理療臨床実習Ⅰ」、「理療臨床実習Ⅱ」、「理療教育授業開発演習」、「障害科学研究実践法」、「視覚障害学講究Ⅰ」、「視覚障害学講究Ⅱ」、「視覚障害学講究Ⅲ」の授業を行った。
3. 大学院体育研究科で、「外科系スポーツ医学演習Ⅰ」、「外科系スポーツ医学演習Ⅱ」、「アスレティックリハビリテーション

論特講」、「アスレティックリハビリテーション論演習」、「アスレティックリハビリテーション論実習」の授業を行った。

4. 人間学群で、「物理療法」、「物理療法特論」の授業を行った。
5. 医学専門学群4年生を対象に、アドバンストコース「今日の医療としての東洋医学」について講義・実習を行った。
6. 現職教員の教育の一環として、文部科学省との共催で、盲学校（視覚特別支援学校）理療科教員90名を対象に、5日間筑波大学東京キャンパス文京校舎において講習会を開催した。
7. 教員免許更新講習を文部科学省との共催で、42名を対象に、5日間筑波大学東京キャンパス文京校舎において講習会を開催した。
8. 公開講座「視覚特別支援学校理療科教員免許法認定講習会」を、文部科学省との共催で、受講者27名を対象に4日間筑波大学東京キャンパス文京校舎において講習会を開催した。
9. 社会人を対象とした、公開講座「東洋医学でリフレッシュ！」を筑波大学東京キャンパス文京校舎において、週1回、計6回実施した。

Ⅳ. 臨床活動

1. 理療臨床部

理療臨床部における診療は、月・火・木・金曜日の午前9時から午後5時に行っている。指導者2～4人に対し、施設生・専攻生・研修生が従事して臨床にあたっている。平成27年度の理療臨床部の開設日数は173日、患者数は、初見190名、年間延べ患者数は4,662名であった。

2. 共同研究

筑波大学トレーニングクリニック：大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻の医学系教員、体育科学系教員との共同研究によ

り、スポーツ外傷・障害の鍼治療の効果、スポーツパフォーマンスに及ぼす鍼灸治療効果について検討している。

3. 競技支援

リオデジャネイロパラリンピック強化選手(視覚障害者柔道選手、盲人マラソン選手)の鍼灸マッサージによるコンディショニングサポートを行った。

リオデジャネイロパラリンピック視覚障害者柔道選手団の帯同をした。

V. 研究活動

◇著書

- 1) 宮本俊和：特別支援教育における視覚障害学生の臨床能力向上のためのITを活用した包括的研究. 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤(A), 186, 2016.
- 2) 宮本俊和, 河合純一, 齊藤まゆみ, 佐藤卓弥, 廻谷滋, 丸山真一：2016年版 視覚障害者のパラリンピックスポーツ. 筑波大学ブラインドパラスポーツMTG, 87, 2016.
- 3) 宮本俊和：視覚障がいパラリンピアン競技力向上に向けた調査報告. 筑波大学人間系パラリンピック研究支援グループ, 108, 2016.

◇原著論文

- 1) 丸山真一, 和田恒彦, 佐藤卓弥, 名嘉山和成, 恒松隆太郎, 徳竹忠司, 濱田淳, 宮本俊和：スマートフォン用簡易型サーマルカメラ使用による意識調査. Biomedical Thermology, 35(2)；41-45, 2016.
- 2) 水出靖, 藤井亮輔, 近藤宏, 和田恒彦, 岡田富広, 柏木慎太郎, 栗原勝美, 西村みゆき, 柴田健一, 高澤史, 古川直樹, 長谷部光二：多施設間連携ランダム化比較試験による慢性膝痛に対するマッサージ療法の有効性の検討, 一単回介入による直後効果一. 理療教育研究, 38(1)；9-17,

2016.

- 3) 工藤滋, 和田恒彦：理療科卒業時における低周波鍼通電療法の学習・習得状況等に関する調査一筑波大学理療科教員養成施設学生を対象として一. 理療教育研究, 38(1)；37-43, 2016.
- 4) 栗原勝美, 柴田健一, 和田恒彦, 近藤宏, 水出靖, 西村みゆき, 岡田富広, 高澤史, 古川直樹, 柏木慎太郎, 長谷部光二, 藤井亮輔：高齢者膝痛に対するマッサージ一日本理療科教員連盟研究推進委員会式マッサージ術式一. 理療教育研究, 38(1)；51-54, 2016.
- 5) 田野誠也, 山口修一, 和田恒彦, 工藤滋, 宮地裕久, 青木隆明, 宮本俊和：視覚障害者の理療教育におけるタッチスクリーン操作アプリケーション適用の検討. 理療教育研究, 38(1)；55-62, 2016.
- 6) 花岡裕吉, 清水和弘, 青木謙介, 原賢二, 遠藤桃子, 平岡拓晃, 佐藤卓弥, 和田恒彦, 宮本俊和：大学スポーツ競技選手における内科疾患に対する鍼治療の実態調査. 東方医学, 31(3・4)；41-48, 2016.
- 7) 渡部良平, 大町雅志, 林拓弥, 阿部梨沙, 和田恒彦, 宮本俊和：視覚障害者における反転授業の可能性と課題. 筑波大学特別支援教育研究, 10；23-30, 2016.
- 8) 工藤滋, 原早苗, 岡愛子, 和田恒彦：盲学校理療科における坐骨神経鍼通電の指導等に関する実態調査. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(2)；43-50, 2016.
- 9) 和田恒彦, 全英美, 宮本俊和：棒灸の温度特性一燃焼部からの距離と加温範囲の検討一. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(2)；51-56, 2016.
- 10) 望月幸治, 柿谷愛子, 河野雄一, 丸山功揚, 南裕香里, 和田恒彦, 徳竹忠司, 濱田淳, 宮本俊和：腎愈穴, 志室穴の解剖学的部位の考察一MRI撮影における仰臥位, 腹臥位, 左側臥位との比較一. 日本東洋医学系物理療

法学会誌, 41(2); 85-88, 2016.

- 11) 宮本俊和, 河合純一, 齊藤まゆみ: ブラインドアスリートの発掘と育成に関する現状と課題. 筑波大学ブライントパラスポーツ・ミーティング, パラリンピック研究会紀要, 5, 43-51, 2016.
- 12) 林健太郎, 徳竹忠司, 濱田淳, 宮本俊和: 頸・肩上部の肩こりに対する低周波鍼通電療法の効果—治療頻度を考慮した検討—. 日本東洋医学系物理療法学会雑誌, 41(2); 73-79, 2016.

◇総説等

- 1) 徳竹忠司: 低周波鍼通電療法—筋肉パルス各論7 股関節周辺筋① 腸骨筋—. 現代鍼灸学, 16(1); 25-27, 2016.
- 2) 徳竹忠司: シンポジウム 膝OAに対する鍼灸治療の評価と治療戦略「膝OAに対する鍼通電療法の実際」. 現代鍼灸学, 16(1); 89-93, 2016.
- 3) 徳竹忠司: シンポジウム 低周波鍼通電療法の新たな展望「鍼通電療法の臨床応用」, 日本東洋医学系物理療法学会雑誌, 41(2), 27-34, 2016.
- 4) 宮本俊和: スポーツ障害・外傷に対する鍼通電療法—周波数の違いによる臨床経験—. 日本東洋医学系物理療法学会雑誌, 41(2); 9-16, 2016.
- 5) 藤本英樹, 佐藤卓弥, 坂井友実, 宮本俊和: 大学テニス選手の足関節不安定症に対する鍼治療の1症例～アスレティックリハビリテーションと鍼治療の併用～. 現代鍼灸学, 16(1); 17-24, 2016.
- 6) HANAOKA Yukichi, SHIMIZU Kazuhiro, WATANABE Koichi, AKAMA Takao, MIYAMOTO Toshikazu: Effect of acupuncture stimulation on salivary human beta-defensin 2 after a single strenuous exercise in young male subjects. Japanese acupuncture and

moxibution, 12(1);1-8, 2016.

◇学会発表

- 1) 佐藤卓弥, 宮地裕久, 木村和訓, 角田朋之, 花岡裕吉, 和田恒彦, 宮本俊和: ペグボードテストやオコナー巧緻性テストによる作業時間への視覚障害の影響. ロービジョン学会誌, 15 S34, 2016. 1, 大宮
- 2) 望月幸治, 柿谷愛子, 丸山功揚, 和田恒彦, 宮本俊和: 腎兪穴, 志室穴の解剖学的部位の考察—MRI撮影における仰臥位, 腹臥位, 左側臥位との比較—. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(1), 26, 2016. 日本東洋医学系物理療法学会第41回学術大会, 2016. 3, 東京
- 3) 和田恒彦, 全英美, 宮本俊和: 棒灸の温度特性—燃焼部からの距離と加温範囲の検討—. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(1); 27, 2016. 日本東洋医学系物理療法学会第41回学術大会, 2016. 3, 東京
- 4) 宮地裕久, 緒方昭広, 工藤滋, 和田恒彦, 宮本俊和: 視覚障害の程度による刺鍼技術反復練習効果の比較. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(1); 28, 2016. 日本東洋医学系物理療法学会第41回学術大会, 2016. 3, 東京
- 5) 渡邊麗恵, 本村みのり, 可児亜沙美, 徳竹忠司, 濱田淳, 和田恒彦, 宮本俊和: 日本の理療教育における国際支援プロジェクトに関する調査研究. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(1); 30, 2016. 日本東洋医学系物理療法学会第41回学術大会, 2016. 3, 東京
- 6) 近藤宏, 木下裕光, 香田泰子, 宮川俊平, 宮本俊和: 視覚障害者のスポーツ活動に対する意識と実施状況に関する調査. 日本障害者スポーツ学会第25回学術大会, B-21, 2016. 3, 新潟
- 7) 和田恒彦, 望月幸治, 柿谷愛子, 丸山功

- 揚, 宮本俊和: 体位変換による腰部の変形に対するMRI画像による検討. 全日本鍼灸学会雑誌, 66別冊256, 2016. 第65回全日本鍼灸学会学術大会, 2016. 6, 札幌
- 8) 恒松隆太郎, 濱田淳, 徳竹忠司, 和田恒彦, 恒松美香子, 宮本俊和: 筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部における卒後臨床教育の実態. 全日本鍼灸学会雑誌, 66別冊182, 2016. 第65回全日本鍼灸学会学術大会, 2016. 6, 札幌
- 9) 近藤宏, 功刀峻, 吉田成仁, 藤本英樹, 宮川俊平, 宮本俊和: 足関節不安定性に対する円皮鍼貼付が腓骨筋反応時間に与える影響. 日本鍼灸学会雑誌, 66別冊176, 2016. 第65回全日本鍼灸学会学術大会, 2016. 6, 札幌
- 10) 佐藤卓弥, 角田朋之, 花岡裕吉, 功刀峻, 三木由佳利, 新藤浩世, 丸山真一, 内藤知華, 廻谷滋, 和田恒彦, 宮本俊和: 筑波大学理療科教員養成施設のブラインドパラスポーツ支援. スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 8号, 14, 2016. 第8回スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 2016. 3, 東京
- 11) 功刀峻, 増成暁彦, 吉田成仁, 和田恒彦, 宮本俊和, 宮川俊平: 足関節不安定性を有する大学サッカー選手の姿勢安定化時間の遅延と筋活動. スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 8号, 20, 2016. 第8回スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 2016. 3, 東京
- 12) 角田朋之, 佐藤卓弥, 和田恒彦, 小林裕幸, 宮本俊和: 前腕の慢性型労作性コンパートメント症候群 (CECS) に関する研究. スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 8号, 21, 2016. 第8回スポーツ鍼灸リサーチミーティング, 2016. 3, 東京
- 13) 徳竹忠司: 僧帽筋に対する鍼・鍼通電療法に関する一考察. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(1); 33, 2016. 日本東洋医学系物理療法学会第41回学術大会, 2016. 3, 東京
- 14) 徳竹忠司: シンポジウム 低周波鍼通電療法の新たなる展望「鍼通電療法の臨床応用」. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(1); 16-17, 2016. 日本東洋医学系物理療法学会第41回学術大会, 2016. 3, 東京
- 15) 宮本俊和: 特別講演 スポーツ障害・外傷に対する鍼通電療法—周波数の違いによる臨床経験—. 日本東洋医学系物理療法学会誌, 41(1); 14-15, 2016. 日本東洋医学系物理療法学会第41回学術大会, 2016. 3, 東京
- ◇講演等
- 1) 徳竹忠司: トリガーポイントを手技療法に應用する. 長崎県鍼灸マッサージ師会, 2016. 2, 長崎
- 2) 徳竹忠司: 肩関節周囲炎に対する応用トリガーポイント手技療法. 東京都盲人福祉協会 平成28年度 施術者講習会, 2016. 8, 東京
- 3) 徳竹忠司: 肩関節周囲炎に対する鍼通電療法. 日本東洋医学系物理療法学会実技セミナー, 2016. 7, 東京
- 4) 徳竹忠司: 腰下肢症状のみかたと鍼通電療法. 横浜市立盲特別支援学校校内研修会, 2016. 11, 横浜
- 5) 徳竹忠司: 手技療法 (あん摩・マッサージ) ①. 筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ!, 2016. 11, 東京
- 6) 徳竹忠司: 臨床医学総論, 平成28年度筑波大学 (東京キャンパス) 公開講座 特別支援学校 (視覚) 理療科教員免許法認定講習, 2016. 7, 東京
- 7) 徳竹忠司: 高齢者に対する鍼療法の考え方. 筑波大学教員免許更新講習会, 2016. 7, 東京

- 8) 徳竹忠司：高齢者に対する鍼療法の考え方. 視覚特別支援学校自立教科担当教員講習会, 2016. 7, 東京
- 9) 濱田淳：臨床医学各論. 平成28年度筑波大学（東京キャンパス）公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習, 2016. 7, 東京
- 10) 濱田淳：泌尿器系の鍼治療. NPO全国鍼灸マッサージ協会主催東洋医療臨床技術大学校アカデミー講座, 2016. 11, 東京
- 11) 濱田淳：手技療法（あん摩・マッサージ）②. 筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ!, 2016. 11, 東京
- 12) 宮本俊和：スポーツ分野における鍼灸治療. 信州医療福祉専門学校, 2015. 5, 長野
- 13) 宮本俊和：スポーツ分野の鍼灸治療. 花田学園, 2016. 5, 東京
- 14) 宮本俊和：運動機疾患の熱画像検査. 臨床熱画像検査法講習会, 日本サーモロジー学会, 2016. 5, 奈良
- 15) 宮本俊和：臨床医学総論, 平成28年度筑波大学（東京キャンパス）公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習, 2016. 7, 東京
- 16) 宮本俊和：健康と東洋医学. 筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ!, 2016. 10, 東京
- 17) 宮本俊和：ストレートネックによる障害と治療法. 静岡県鍼灸マッサージ師会, 2016. 11, 静岡
- 18) 宮本俊和：スポーツ分野の鍼灸治療ー東京オリンピック1964 VS 2020ー. 国際鍼灸専門学校同窓会, 2016. 11, 東京
- 19) 宮本俊和：スポーツ外傷・障害に対する鍼灸マッサージ. 福岡盲学校, 2016. 11, 福岡
- 20) 宮本俊和：スポーツ分野における鍼灸マッサージー東京オリンピック・パラリンピ

ックに向けてー. 筑波大学附属視覚特別支援学校, 2016. 12, 東京

- 21) 和田恒彦：臨床医学総論. 平成28年度筑波大学（東京キャンパス）公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習, 2016. 7, 東京
- 22) 和田恒彦：経路と経穴について, 筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ!, 2016. 10, 東京

◇開催講習会

- 1) 平成28年度盲学校理療科教員免許法認定講習会. 2016年7月4日～7日, 筑波大学東京キャンパス文京校舎, 東京
- 2) 平成28年度視覚特別支援学校自立教科担当教員講習会. 2016年7月19日～22日, 筑波大学東京キャンパス文京校舎, 東京
- 3) 平成28年度筑波大学教員免許状更新講習会. 2016年7月19日～22日, 筑波大学東京キャンパス文京校舎, 東京
- 4) 平成28年度筑波大学公開講座 東洋医学でリフレッシュ! 家庭でできる手技療法. 2016年9月～11月, 筑波大学東京キャンパス文京校舎, 東京

◇開催学術大会

- 1) 平成27年度スポーツ鍼灸リサーチミーティング 2016年3月5日～6日, 筑波大学東京キャンパス文京校舎, 東京

◇開催シンポジウム

- 1) ブラインドバラスポーツシンポジウム 2016「ブラインドアスリートのスポーツ科学サポートーリオデジャネイロに向けてー」. 2016年3月6日, 筑波大学東京キャンパス文京校舎, 東京
- 2) 2015年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム「視覚障がいスポーツの現状と課題ーコミュニティ参加に向け

てー]. 2016年7月19日, 筑波大学東京
キャンパス文京校舎, 東京

- 3) ブラインドパラスポーツシンポジウム
2016「ーリオから東京へー」. 2016年
12月18日, 筑波大学東京キャンパス文京
校舎, 東京

◇研究助成

- 1) 宮本俊和, 和田恒彦: 機能性を重視した
レッグウェアの開発. (株)ナイガイとの産
学連携研究, 2016
- 2) 2015年度スミセイコミュニティスポー
ツ推進助成プログラム (代表者: 宮本俊
和): 「視覚障害パラリンピアン競技力向
上とコミュニティスポーツ参加を目的とし
た調査研究」, 2016
- 3) 平成28年度ハイパフォーマンスサポー
ト事業 (パラリンピック競技): 「障害特性
に応じたメディカルチェックおよびコンデ
イショニングの指標の研究開発」, 2016
- 4) 平成28年度ハイパフォーマンスサポー
ト事業 (パラリンピック競技): ブライン
ド選手に対する各種競技情報のフィードバ
ックシステムの研究開発, 2016
- 5) 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金
(基盤研究 (C))) (研究代表者: 徳竹忠
司): 「特別支援学校理療科あん摩実技にお
ける臨床能力向上を目的とした教育プログ
ラムの開発」, 2016
- 6) 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金
(基盤研究 (C))) (研究代表者: 濱田淳):
「鍼実技実習における視覚障害学生の治療
教育プログラムの開発に関する教材論的研
究」, 2016
- 7) 筑波大学教育戦略推進プロジェクト支援
事業 (研究代表者: 宮本俊和): 「視覚障害
パラリンピアン支援を基にした筑波型イ
ンクルーシブ教育システムの構築」, 2016